

COMBI

コンビ デビューJF

取扱説明書

世界初、新機構4輪キャスター

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、開梱後も大切に保存してください。



安全基準B型
(7カ月～2才まで)

目次	●ご使用上の注意.....1	●その他の取り扱い方.....10
	●各部のなまえ.....3	●シートベルトの調整
	●デビューJFの特長.....4	●ストッパーの使い方
	●デビューJFのひらき方、使い方...5	●足のせの使い方.....11
	●リクライニングの使い方.....6	●シートの取り扱い方
	●アームレストカバーの取り扱い方	●買い物カゴの取り扱い方.....12
	●ハンドルの高さの調節.....7	●セーフティガードの取り扱い方
	●日除け(幌)の使い方	●日常のお手入れについて.....13
	●ハンドルの切り替え方.....8	●品質保証書.....14
	●キャスターの使い方	●SGマークについて
	●折りたたみ方.....9	

ご使用上の注意

ご使用にあたって特につぎの点にご注意ください。

[このベビーカーはSG基準B型に適合した1人乗り用です。]

- 使用してよい乳幼児の年齢：生後7ヵ月以上満2才まで。
- 連続使用時間：1時間以内が望ましい。

- ご使用になる場合は、折りたたみ構造の止め金具などがしっかりかかっているか（完全に開いた状態であるか）をハンドルを上下させて確認してからご使用ください。



- 座席やその他のところに、赤ちゃんを立たせないでください。



- 乳幼児を乗せたまま持ち上げて移動しないでください。階段等で手を滑らせると大変危険です。



- 2人乗りをさせないでください。

- 幌やハンドルの上に物をのせたり、掛けたりしないでください。



- ガードが付いていますが、シートベルトは腰ベルトと股ベルトを併用し必ず締めて使用してください。またシートベルトを締めていても万一の立ち上りに対しては、十分ご注意ください。



- 赤ちゃんを乗せたまま、ベビーカーを離れないでください。



- ご使用中ハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけると、転倒するおそれがありますので、十分にご注意ください。

- 空車であっても危険な場所での放置は絶対に避けてください。また、乳幼児を乗せたときや空車であっても坂道等でストッパーを過信しないでください。構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。

- 歩道等の段を上がる時はハンドル方向を対面ではなく背面にご使用ください。



- カゴには 5 kg 以上の荷物を載せないでください。

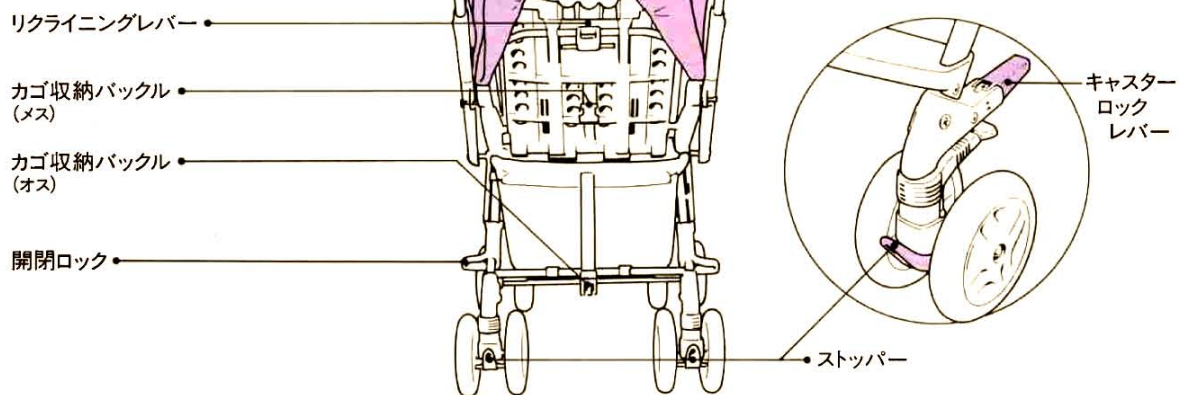
- ご使用前に、ネジやナットがゆるんでないかチェックしてください。

- シートクッションや、アームレストカバーを付けずに、赤ちゃんを乗せると、指をはさむ危険性があります。ご注意ください。

各部のなまえ



足のせバー



デビューJFにはこんな特長があります。

赤ちゃんのために

1) 居住性は？

- おフトンのような柔らかシートで、赤ちゃんにソフトな座りごちです。
- 3段階リクライニングで、寝た姿勢、あそぶ、風景を見るなど、目的に合わせてリクライニング角度を選べます。

2) 快適性は？

- ハンドルの方向替えて、お母さんの顔を見たり、外の風景を見たりできます。
- シートは、簡単に取りはずせて水洗いできるので、清潔な状態でお使いいただけます。

3) 安全性は

- コンビ独自のリンク式サスペンションで、悪路でも、赤ちゃんへの影響が少なくなりました。
- ストッパーは確実性の高いダブルロック方式になっています。
- シートベルトは、赤ちゃんの成長に合わせて調整できるので、赤ちゃんを優しく、しっかりホールドします。

お母さんのために

1) 操作性は？

- 開閉操作や、リクライニング操作が、赤ちゃんをだいたまま、片手でできます。
- 回転式アジャストハンドルなので、押す人の身長に合わせて、ハンドルの高さ調整ができ、とても便利です。

2) 移動には？

- 新開発の、簡単4輪キャスター（車輪の回転メカニズム）で、方向転換がスムーズにできます。
※従来のキャスターロック操作の難かしさを解消しました。

3) 収納性は？

- コンパクトに折りたたため、自立しますので収納場所を取りません。
- 車のトランクに収納するとき、ハンドルを回転させると、小さくなり、とても便利です。

4) お洗濯は？

- シートが簡単にはずれ、洗濯機で水洗いができます。またアームレストカバーや幌も簡単に取りはずして、ブラシ洗いができます。

デビューJFのひらき方、使い方

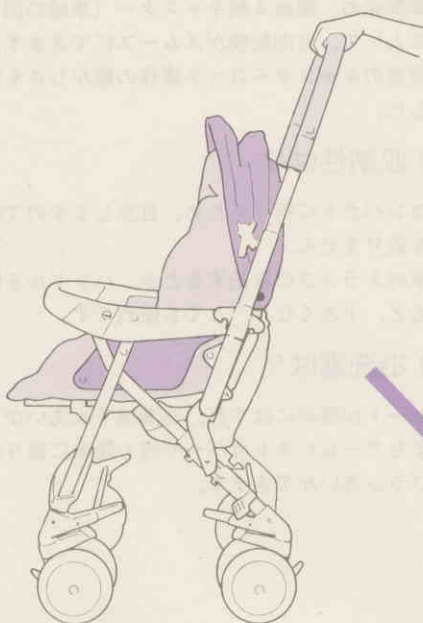
※箱から出した後、ご使用になる前にアームレストカバー（6ページ）、幌（7ページ）を、取りつけましょう。

デビューJFをひらきます

※イラストは、幌、アームレストカバーが、すでに取り付けられています。

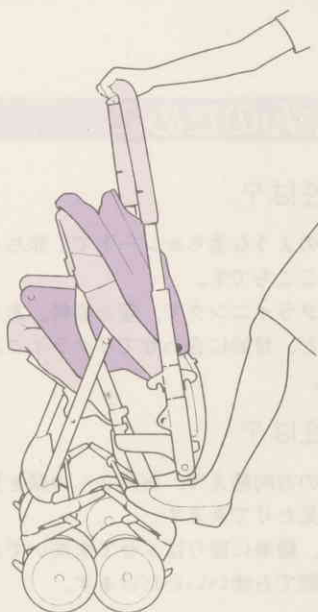
1

本体後部にある、左右2ヶ所の開閉ロックをカチッと音がするまでつま先で押し下げます。



2

ハンドルを持ち上げるようにすると、除々にひらきはじめ、カチャンと音がするまでひらきます。



3

①幌をひろげ、②カゴ収納バックルをはずします。



ご・注・意 開閉ロックを下げたまま走行しますと、ロックが解除されているため危険です。ロックの状態にご注意ください。

●ロックが解除されている。

← 開閉ロックが下がって間に空きがある。



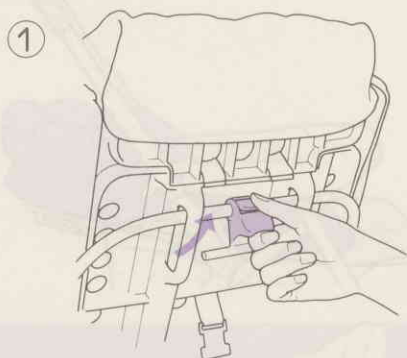
●ロックされている(走行のとき)

← 開閉ロックが上がって間に空きがない。



リクライニングの使い方

リクライニングの角度を変えるときは、①リクライニングレバーを指先で握り、②目的の角度に変えます。リクライニングは、背を立てた位置、中間、寝かせた位置の3段階です。

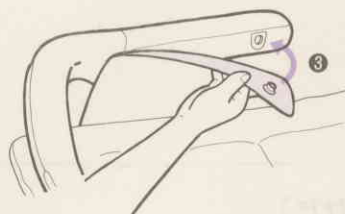
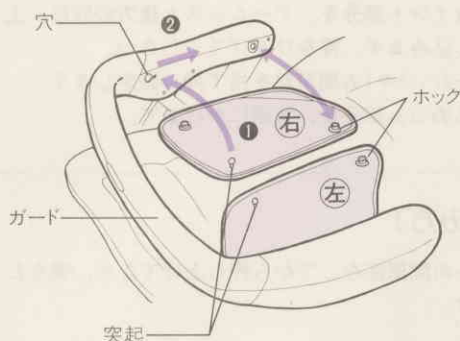


アームレストカバーの取り付け、取りはずし方

開梱後必ず本体に取り付けてください。

リクライニングをいちばん倒した角度にして、アームレストカバーの左右を確認し、①白い「突起」をアームレスト内側前部の穴に差し込み、②後ろに水平にスライドさせ、③後部のホックをはめます。

取りはずし方は、リクライニングをいちばん倒した角度にして、上記の逆の手順でおこないます。



ご・注・意

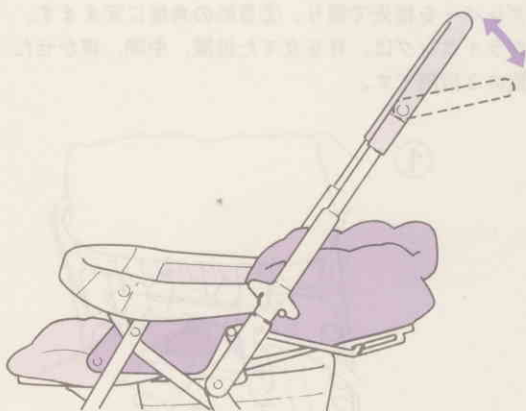
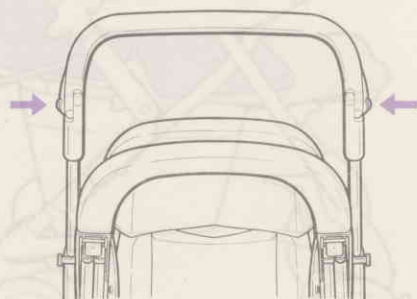
アームレストカバーをはずしたまま、赤ちゃんをベビーカーに乗せることは危険ですのでおやめください。



デビューJFのひらき方、使い方

ハンドルの高さの調整します

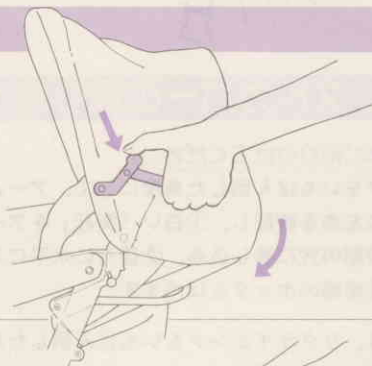
ハンドルグリップのハンドルアジャストボタンを左右同時に押しながら、角度をかえます。使いやすい高さでハンドルアジャストボタンから指をはなすと、自動的に固定できます。



日除け(幌)の使い方

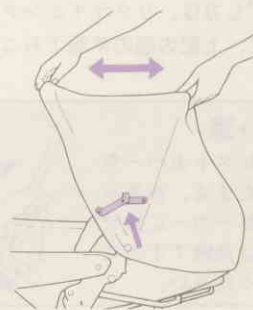
〔組み立て方〕

幌のジョイント部分を、アームレスト後方の穴に、上から差し込みます。幌をひろげてください。幌レバー(ハジキ)の関節部を指で押し固定します。幌の後ろのゴム部分を、背面にかけます。



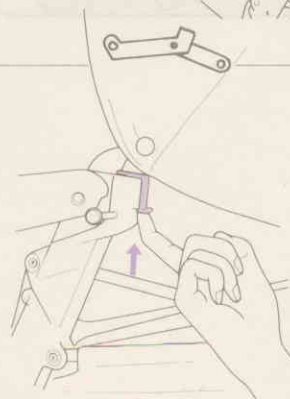
〔たたみ方〕

幌レバーの関節部を、下から押し上げてから、幌をたたみます。



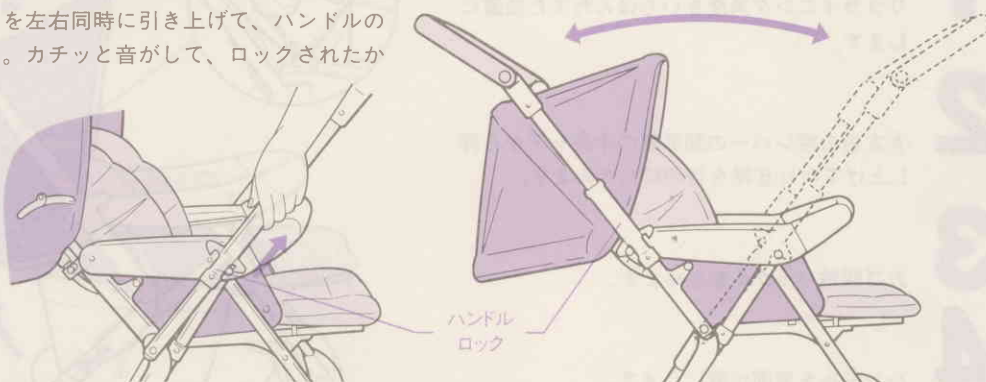
〔幌のはずしかた〕

ジョイント部分の、ツメをはずして、ジョイント部分を引き抜きます。



ハンドルの切り替えをします

ハンドルロックを左右同時に引き上げて、ハンドルの向きをかえます。カチッと音がして、ロックされたか確認します。



キャスターの使い方

方向転換がスムーズに行なえるよう車輪の向きが変わる機構をキャスターといいます。

ハンドルの向き（対面、背面）のどちらも、進行方向の前部分の、車輪を回転させます。

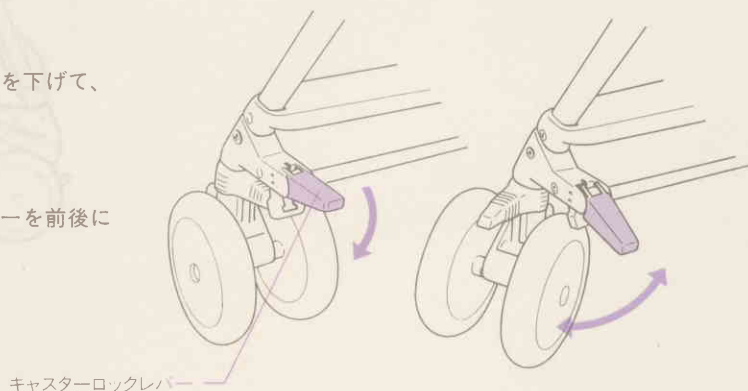


〔キャスターを使用するとき〕

進行方向、前側のキャスターロックレバーを下げて、車輪を動かします。

〔キャスターを使用しないとき〕

キャスターロックレバーを上げ、ベビーカーを前後に動かすと、自動的にロックします。



折りたたみ方

1

リクライニング角度をいちばんたてた位置にします。

2

①左右の幌レバーの関節部の中央を下から押し上げてから②幌を後部にたたみます。

3

カゴ収納バックルをとめます。

4

ハンドルを背面位置にします。

5

キャスターロックレバーを押しあげ、車輪を固定します。

6

本体後部にある、左右の開閉ロックを、カチッと音がするまでつま先で押し上げます。

7

ハンドルを前方向に軽く持ちあげるようにしながら、前輪を支点にして矢印のように力を加えると自然に折りたためます。



その他の取り扱い方

シートベルト(股ベルト・腰ベルト)の調整をします

- シートベルト(股ベルト・腰ベルト)は、赤ちゃんの成長に合わせて調節ができます。

1

赤ちゃんを乗せ、股ベルトと腰ベルトを体に合わせます。赤ちゃんをいったんおろし、シートを持ち上げて股ベルトの長さを調整します。

2

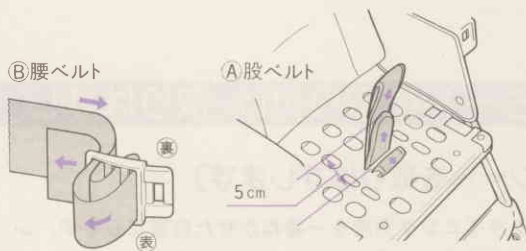
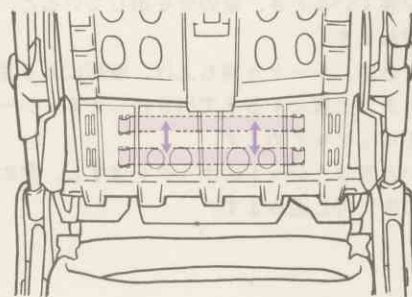
腰ベルトの長さをバックルのところで調節してから、左右の長さを同じにします。

3

赤ちゃんを乗せて股ベルト、腰ベルトの長さが体に合っているかをみます。

※このときベルトがゆるすぎたり、きつすぎたりしたら、1に戻って調節し直します。

- 腰ベルトは成長に合わせて、背面のベルト穴位置を上下に移動できます。
- 万一、股ベルトをはずしたときや、腰ベルトのバックルをはずしたときは、図A⑧のように確実にセットしてください。

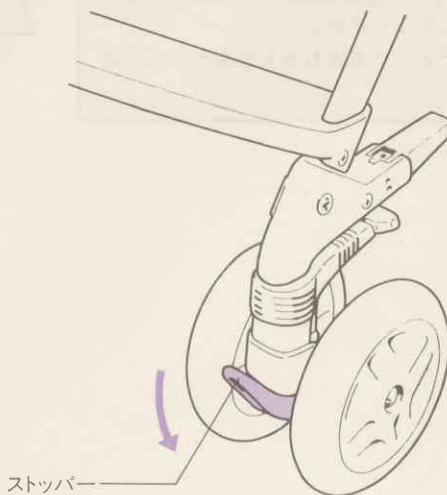


ご・注・意 股ベルトは、端末まで5 cm以上の余裕を取って、図Aのようにセットしてください。赤ちゃんは1才前後から活発に動くようになります。赤ちゃんを適切にホールドする為にベルトはママの親指が入るくらいの余裕をもってしっかりと締めてください。

ストッパーの使い方

ベビーカーから離れるときは必ずストッパーをかけましょう。車輪の内側にある、オレンジ色のストッパーを左右両方とも倒します。

ストッパーがかかり、ブレーキ状態になっているか、ベビーカーを前後に軽く動かして確認しましょう。



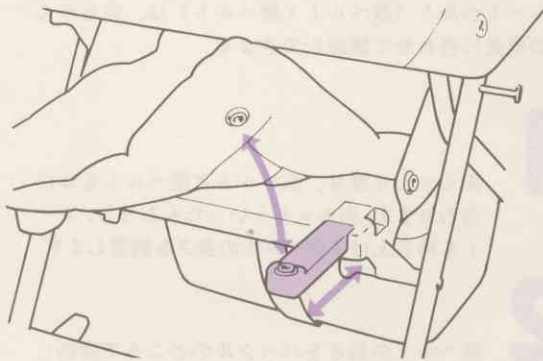
その他の取り扱い方

足のせの使い方

赤ちゃんが寝ているとき、足のせを出していると、楽な姿勢で眠れます。

使用するときは、シートを持ち上げ、座面にある足のせバーをカチッと音がするまで引き出します。シートを乗せ必ずホックをとめます。

使用しないときは、シートのホックをはずし、足のせバーを座の中に押し込みます。



シートの取り付け、取りはずし

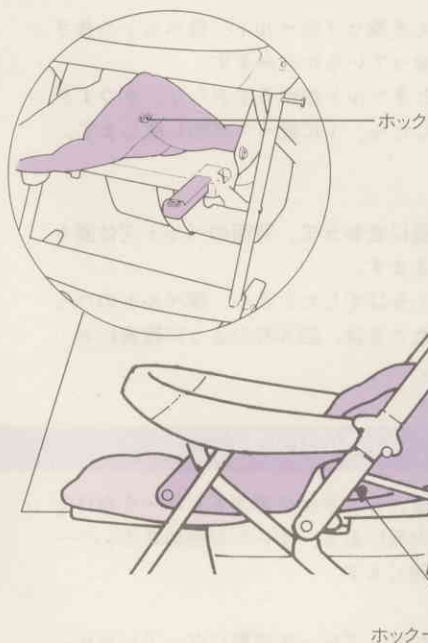
〔シートを取りはずします〕

リクライニング角度を一番ねかせた位置にします。シートの左右3ヵ所ずつのホックをはずします。

次にシートベルトをはずし、シートを真上に引き抜きます。

〔シートを取り付けます〕

リクライニング角度を一番ねかせた位置にします。シートをかぶせシートベルトを穴に通し、ホックをかけます。



ご・注・意 シートを取り付けたとき、シートベルト、アームレストカバー、シートのホックを、忘れずセットしてください。

不完全なセッティングで赤ちゃんを乗せることは危険です。

カゴの取り扱い方

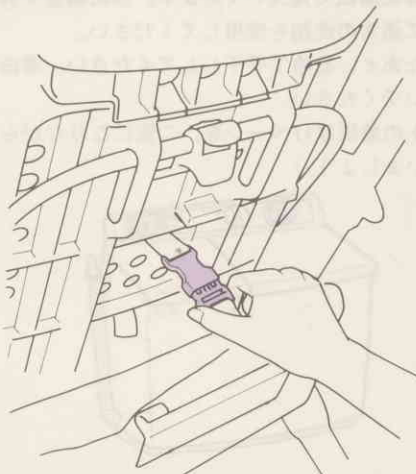
カゴを使用するときは、カゴ収納バックルの左右を握りバックルをはずして、カゴを開きます。

カゴを使用しないときは、カゴ収納バックルの、オス（カゴ側）をメス（背面側）に差し込みます。

ご・注・意 ●カゴに角のとがった物を載せるとメッシュの部分を傷つけることがあります。

●カゴには5 kgまでの荷物を入れられますが、縦長の重量物を入れるときは横にねかせてください。

●カゴに物を入れたまま折りたたまないでください。



セーフティーガードの取り付け、取りはずし方

セーフティーガードは、赤ちゃんがつかまって体を安定することができ、また外部の障害物から、赤ちゃんをガードしています。

ガードが汚れて、ふきそうじをするとき以外は、いつも取り付けて使用しましょう。

〔取りはずし方〕

アームレスト外側にある、ガード取り付けネジを図Aのように、コインで背面の方向へ、90度ひねります。（ネジの溝がタテ方向になります。）

次に、アームレスト内側の溝に、コインを押し込み、ガード取り付けネジを外側に取り出します。（図B）ガードを取りはずした後は、アームレストに、ガード取り付けネジを再び差し込み、コインでネジを前方へ90度ひねります。（図C①）（ネジの溝がヨコ方向になります。）

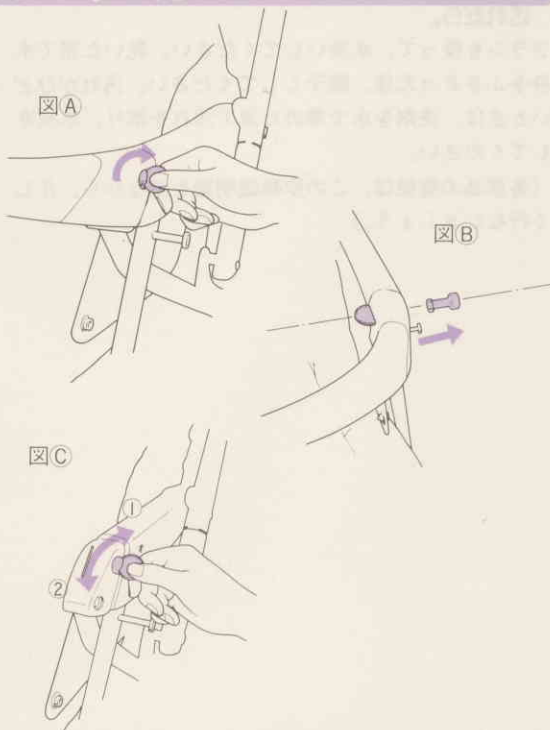
取り付けネジが抜けないか、指で押して確認します。

〔取り付け方〕

ガード取り付けネジを、コインで背面の方向へ90度ひねり（図C②）、はずします。セーフティーガードをアームレストにセットし、ネジを差し込みます。コインで前方へ90度ひねります。（ネジの溝がヨコ方向になります。）

セーフティーガードが確実にセットされたか、アームレスト内側の溝にコインを押し込み、ネジが抜けないかを確認します。

セーフティーガードを軽く持ち上げ、確実にセットされたかチェックします。



ご・注・意 赤ちゃんを乗せたまま、セーフティーガードを持ってベビーカーを持ち上げないでください。

ガード取り付けネジが、正しい位置（ネジの溝がヨコ）でセットされているかご確認ください。

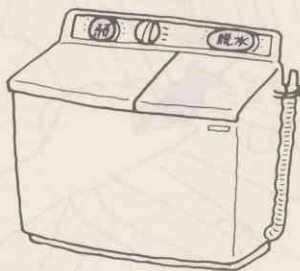
日常のお手入れ

●シートが汚れたら

シートは洗濯機で丸洗いです。水流調整を⑧にセットして通常の洗剤を使用してください。

脱水したあと、日陰で平干ししてください。漂白剤は使わないでください。

(シートの着脱は11ページを、ご覧になりながら正しく行ないましょう。)



●日除け(幌)、アームレストカバー、シートベルトが汚れたら。

ブラシを使って、水洗いしてください。乾いた布で水分をふきとった後、陰干ししてください。汚れがひどいときは、洗剤を水で薄めた液で汚れを取り、水拭きしてください。

(各部品の着脱は、この取扱説明書を見ながら、正しく行ないましょう。)

●ベビーカー本体が汚れたら

車輪に付いた泥は、こまめにふき取りましょう。

本体フレーム部分が汚れたときは、水を含んだ布で汚れをふき取った後、乾いた布で水分を取ります。

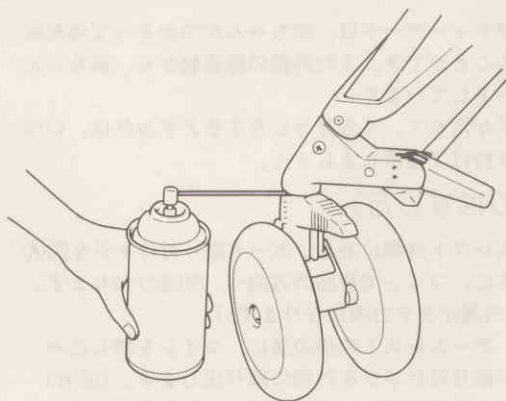
湿気をおびたまま放置しますと、カビがはえることがあります。乾いた布でふき取るように心がけましょう。

●注油が必要と思われる場合

古くなってきて、注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油か潤滑剤を少量お使いください。(食用油はほこりが付き易く、かえって機能を低下させます。)

キャスター部への注油は、できるだけおやめください。新らしいうちに注油すると、キャスターが回転しすぎて、かえって機能を低下させます。

長期間ご使用のうちに、万一、泥や雨水などで、キャスターの回転が悪くなってきたときは、以下のように潤滑剤をご使用ください。



潤滑剤を、2～3秒スプレーします。潤滑剤のノズルをキャスター部分にはさみ込まないようにしてください。

※潤滑剤は、市販されている標準タイプの物をご使用ください。